

# 飼い主としてのマナー あなたは大丈夫？

本町には現在約400頭の犬が飼われています。飼い主と愛犬の関係がうまくいっていて、毎日楽しく暮らしているとしても他の誰かが迷惑と感じていたら、正しい飼い方とは言えません。

世の中には動物が嫌いな人、苦手な人もいますので、その人たちにも理解が得られるような飼い主としてのルールとマナーを守り、責任を持って飼育しましょう。



## 散歩のときのマナー

フンを片付ける道具を何も持たずに散歩をする人やリード（引き綱）を着けずに散歩している人をたまに見かけます。散歩のときは、スコップやビニール袋などをもち、愛犬のフンはきちんと持ち帰ってトイレに流して処理しましょう。

また、放し飼いについても、“人を襲わないから”とか“飼い主から離れないから大丈夫”と言われる人もいますが、動物愛護法により禁止されていますので、ルールを守って飼いましょう。

飼い主が責任を持って愛犬の世話をすれば近所の人とのトラブルもなく、楽しく暮らすことができます。

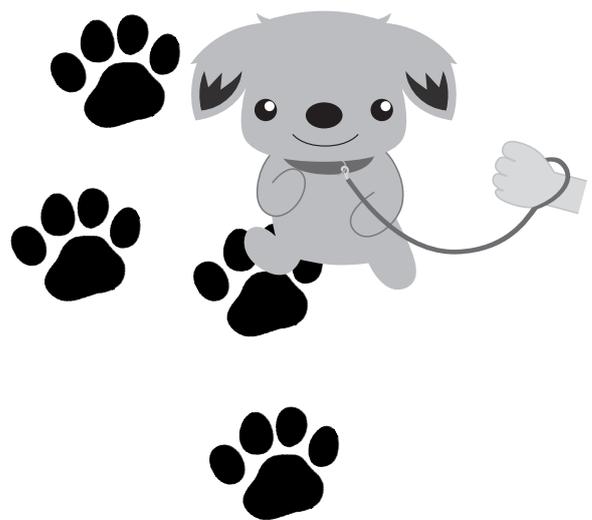


## 寄せられる苦情

- 自宅付近や玄関前にフンをされる
- 放し飼いの犬に子どもが追いかけられる

小型犬などの流行により、犬を飼う人が増えている中、以上のような苦情が多く寄せられています。飼い主は気にしていなくても、それを見た人はとても不快な思いをします。歩いている最中にフンを踏みそうになったり、踏んでしまったりしたことがある人も多いのではないのでしょうか。

地域の人へ不快を与えずに、飼い主としての最低限のマナーを守りましょう。



■問い合わせ先  
住民課住民班  
TEL 78-3113 (内115)